

## 令和元年度 学校経営報告書（自己評価）

学校番号	60	学校名	池新田高等学校	校長名	牧田 恵
------	----	-----	---------	-----	------

本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
ア	自律の精神や基本的な生活習慣を身につけ、規律ある思いやりあふれた人間を育成する。	マナー集会年2回	実施した	A	1学期に生徒会主体で、2学期に SNS モラル講座として実施した。3学期末については、一斉臨時休業により中止した。
		SNSモラル講座年1回	実施した	B	今年度も1回目を1年生の初期指導として、2回目を全校生徒向けに実施した。単発的な講座ではなく年間を通じた取り組みを考えていきたい。
		他者の話をしっかりと聴くことができる生徒80%以上	91.4%	A	職員間の共通理解のもと、授業や行事等で聞くことの徹底を意識してきた。生徒の聞く姿勢にも変化が見られ、改善されてきている。
		身だしなみを自ら正す生徒90%以上	90.5%	B	目標値に90%は達成したが、昨年度の93.1%からやや数字を落とした。年間で一度もチケット指導を受けない生徒がいる一方、複数回指導を受ける生徒もおり、今後も身だしなみや着こなしの指導は継続が必要である。
		自ら挨拶をする生徒90%以上	87.2%	B	目標には届かなかったが、明るく、気持ちの良い挨拶をする生徒が多くおり、良い傾向が見られるため、この雰囲気大切に、定着を図っていきたい。
		校歌をしっかりと歌う生徒60%以上	前年度と比較し改善した	B	式典などでは運動部や応援団を中心に声が出るようになってきている。100周年記念式典に向けて校歌練習を行い、当日はその成果が表れた。
		欠席率1.5%以下	2.9%	C	2学期の欠席率が例年より高く推移した。長期欠席者も7名と多かった。
		遅刻率0.8%以下	1.1%	B	1.2学期とも例年より増加した。
		共生・共育から学ぶことが多いと実感する生徒80%以上	68.9%	B	主に交流を行った1年生は77.7%と高い。2,3年生の交流について検討していく。

様式第3号

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
イ	授業の内容や方法を工夫・改善し、学習意欲を高め、基礎的な学力を育成する。	授業中に教員が褒めたり励ましてくれると感じる生徒 80%	64.8%	C	生徒はまだまだ教員からほめたり励ましたりしてもらっているという感覚がない。今後は組織としての取組が必要である。
		分かる授業を心がける職員 95%以上	91.7%	B	昨年度の 88.2%から微増であった。学力の底上げのため、さらなる取り組みが必要である。
		生徒の到達度に応じた授業を実践している職員 90%以上	生徒の理解度をレポート等で確認している職員 56.8%	B	AL型授業の実践・研究を行っている教員は 79.2%、生徒の習熟度授業への肯定評価は 70.3%であった。成果目標をはかる指標を再設定する。
		先生は授業を大切にしている分かる授業を心がけていると答える生徒 90%以上	81.5%	B	職員がわかる授業を展開したいという思いと生徒の感じ方に差があると感じた。生徒の到達度などを把握しながら授業を行っていく必要があると感じた。
		授業に意欲的に取り組む生徒 90%以上	85.3%	B	生徒が意欲的に取り組める授業を教員が展開していく必要がある。
		他の職員の授業を年2回以上参観する職員 80%以上	83.3%	B	気軽に授業を参観できる雰囲気があると答えた教員が 86%いるのに対し、なかなか授業参観に行けていない現状がある。
		授業公開週間年2回	1回	B	エアコン工事の関係で1回目の授業公開週間が行えなかった。
		義務教育職員との授業改善研修年2回	2回	B	8月、11月に実施をした。初めて高校を会場に研修会を行った。今後につなげていきたい。
		義務教育職員の公開授業参加 40人以上	54名	A	11月に本校で実施した研修会に54名の義務教育職員が参加した。(本校職員は全員参加)
		読書週間年2回	実施	B	読書週間を定めて実施することはなかったが、学年ごと定期的に読書を実施した。
		図書室オリエンテーション1回	1回	A	第1学年を対象に4月に国語の授業内で実施した。
各学年図書BOXの設置	実施	A	本に触れあう機会を多くつくりたいという目的に4月に設置した。		

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
--	------	------	------	----	-------

ウ	人間としてのあり方・生き方を考え、主体的に進路選択をし、進路実現を図る生徒を育成する。	総合的な探究の時間に向けて地域との連携を強化し、具体的な探究の活動の実施（1年）。	御前崎市と連携したキャリア教育を実施	A	御前崎市と連携し、1年生の地域探究活動や2年生の企業セミナーは効果的。「総合的な探究の時間」のガイドライン作りが課題
		各種説明会やインターンシップ等の進路指導、行事が十分に行われていると答える生徒90%以上	88.8%	B	事前指導、事後指導に大きな労力が必要となる行事であるが、進路を考える大きな柱としての充実の必要性あり。
		eポートフォリオの導入	1・2年で実施	A	入試での活用の予測が困難な中、試行錯誤をしながらも実施できた。
		「進路だより」の発行や進路閲覧室の充実により進路について考える機会の提供	「進路だより」は5月から月1回の発行	A	「進路だより」の内容の充実と利用しやすい閲覧室の環境整備が課題。
		学年進学検討会	進路課と学年（担任）との情報交換の形式で数回実施	B	対象となる生徒は若干名であるが、適切な進路指導の機会として有効である。
		大学進学希望者の進路課個別面談	進学希望者全員に1回以上実施。	B	個別面談により受験方針を立てることができた生徒もおり、上記「進学検討会」と合わせて有効に活用する必要あり。
		進路指導員による面接指導	全員1回以上個別の面接指導を実施。全体指導も実施	A	放課後、面接を希望する生徒でスケジュールがいつぱいの状態であり夏休みの有効な活用についても考慮が必要。
		一人ひとりに適した丁寧な進路指導が行われていると答える生徒80%以上	80.4%	A	さまざまな進路希望を持つ生徒がおり、進路指導の基本も個別指導に重点を置く必要のある生徒も多い。
		学びの基礎診断等を活用して、基礎学力が向上したと実感する生徒80%以上（1・2年）	1年 56.9% 2年 52.8%	C	今年度より導入したが「目標設定と指導方法」、「教材の活用研究」等、生徒が取組みを継続できる方策を検討する。
		協働体制を推進する校内分掌配置	概ね達成	B	一部の職員には負担が大きくなっている。次年度には改善できるよう組織・配置を検討する。
職員室施錠時間21時以前	施錠時間の年間平均20時59分	B	1学期が特に多忙である。業務の効率化の呼びかけを継続的に行う。		
県実施調査のストレス値(学校全体)が県平均を下回る。	達成できた	A	ストレスがたまらない、何でも相談できる職場の雰囲気づくりを意識し、今後も励行していく		

様式第3号

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
エ	安心・安全の確保のための環境づくりを推進する。	保健だよりを毎月発行	15回実施	A	月1回作成し、啓発することができた。
		生活習慣アンケートの定期的な実施	1回実施	B	定期的に実施したい。
		薬学講座の実施	1回実施	A	学校薬剤師に実施していただいた。
		朝食摂取率93%以上	90%	B	昨年度より数値が伸びた。保健室来室時に個別の保健指導をしたい。
		保健指導により健康や安全に関する高い意識を持つ生徒80%以上	65%	B	保健行事や保健体育の授業、健康観察、保健だより、ポスター掲示等で意識付けを行ったが達成には至らなかった。
		校内美化に努める生徒90%以上	92.1%	B	校内外美化活動を実施し、教員と生徒の意識向上を図り、日々の清掃活動に生かしたが、更なる向上が望まれる。
		職員安全衛生委員毎月開催	毎月開催	A	職員の職場環境を改善すべく、環境整備、メンタルヘルス等について話し合いをした。
		校内安全点検の定期的な実施	実施	B	職員安全衛生委員会で実施し、意見交換ができた。
		新入生オリエンテーション時に人間関係構築プログラム実施	実施	A	入学時に各クラスで「人間関係作り」を実施した。
		相談室担当者連絡会の実施	実施	A	相談室、養護教諭をはじめ、生徒に関わる教員で情報交換・共有し、支援に反映させることができた。
		いじめアンケート（生活アンケートに含む）の定期的な実施	2回実施	A	些細なことでも情報を共有し、対応策を模索することができた。
		いじめ防止対策委員会を活用し組織的な早期対応	実施	A	問題行動が大きくなる前に相談室やカウンセラーと連携を図り、委員会で議題を共有することができた。
		グリーンカード集計月1回	実施	B	集計結果を全職員で共有することができた。発行枚数増加のために職員への働きかけやカードの掲示方法を検討していきたい。
		グリーンカードの内容の保護者への連絡月1回	実施	B	特に良い表れについては家庭に連絡するように担任に依頼した。
		先生を信頼する生徒70%以上	64%	B	目標には届かなかったが、「悩みに真剣に相談に乗ってくれる先

				生がいる」という質問には、73.3%という数字が出ている。生徒との信頼関係を高めるために生徒理解に努めていく必要がある。
	重大な交通事故0件	重大事故0件	A	交通事故は数件あったものの、いずれも軽微なものに留まった。「交通安全には十分な配慮をし、事故防止に努めている」という質問には93.2%と高い数字が出ているが、規範意識が低い生徒もあり、今後も継続的な啓発活動や交通安全指導が必要だと感じている。
	交通安全教室、年1回の実施	実施	A	年度当初に開催することができた。今年度はサイクリストリーダーの委嘱を受け、生徒会や交通安全委員会が外部でも交通安全の啓発活動を行った。
	部活動に積極的に参加する生徒80%以上	84.2%	A	上級生の部活動定着率が高くなり、積極的に部活動に参加した結果だと考えられる。
	学校行事や委員会活動に積極的に取り組む生徒80%以上	91%	A	生徒会が中心となり、生徒主体の活動が増えてきている。また各委員会の活動も以前よりも増加してきている。
	生徒表彰の充実	表彰される生徒の増加	A	各学期の始業式や終業式の前に表彰式を行っているが、表彰される生徒が増えてきた。表彰される者を称える雰囲気醸成していきたい。
	居心地の良い図書室の環境づくり	実施	A	図書室や図書室周りの掲示物を増やすなど、来室しやすい環境づくりを実施した。
	災害時の対応力を養成するため、防災訓練を実施する。	3回実施 訓練により理解・意識が向上した生徒 76.0%	A	発災場所から避難経路を判断する等判断力を問う内容とした。12月は市役所・消防署の協力を仰ぎ、体験訓練も併せて実施した。
	地域防災訓練への参加を促すとともに訓練参加状況を把握する。	48.0%	B	生徒が地域防災の大きな戦力となるよう、今後も呼びかけをしていきたい。
	監査の指摘事項0件	財務監査 指摘事項0件	A	30年度の財務監査では、指摘事項は無かった。引き続き適切に事務を執行する。

様式第3号

		節電・節水等経費の削減に努める教職員100%	95.8%	B	職員の経費節減に努める意識が上がった。
--	--	------------------------	-------	---	---------------------

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
オ	地域や保護者に信頼される学校や開かれた学校づくりを推進する。	学校・学年行事、部活動の状況、連絡事項を漏れなくホームページに掲載し教育活動を視覚化・ポートフォリオ化する。	実施	A	お知らせ3件、学校案内6件、学校生活58件、重要連絡5件、進路情報1件、中学生の皆さん、部活動30件 学校生活の広報だけでなく、進路や部活動の広報に力を入れていきたい。
		池高TIMES年10回発行・配布	8回	B	定期的に発刊することはできたが、目標には届かなかった。
		地域「寺子屋」における小学生学習支援への生徒の参加	参加	A	多くの生徒が公民館での学習支援ボランティアに参加した。
		地域貢献、地域活動に参加する部活動100%	100%	A	各部活動が様々な形で地域との関わりをもち、地域に貢献する活動に取り組むことができた。
		施設開放を行い地域活動に貢献する。	7団体登録	B	登録団体数が2団体減った。
		日程等の工夫によるPTA総会出席率50%以上	保護者出席率26.9%	B	昨年より若干低下したが、新企画の成果発表会の評判は良く、次年度も継続して出席率の向上につなげていきたい。
		一斉メールを教育活動の広報にも活用する	実施	B	件数・回数は昨年度とほぼ同数である。事務連絡や行事案内以外の活用法を模索したい。
		本校のPTA活動は活発であると答える保護者・教員70%以上	保護者69.2% 教員75.0%	B	役員会・総会に加えて、しぶき祭での食品販売・バザー、砂丘マラソンでの豚汁提供を実施した。今年度は活動紹介が県高P連会報に掲載された。